

KEIJYOJI

菊枝山 慶誠寺 通信

magazine

No.85

<https://www.facebook.com/keijyoji/>





増毛町西暁寺 藤法順師

九条武子様如月忌

令和5年2月15日(水)

増毛町西暁寺 藤法順師

2月の常例布教は例年、九条武子様ご命日法要如月忌と併せてお勤めされます。今回は増毛町の西暁寺より藤法順師をお迎え致しました。藤先生は数年前にも常例で超越しになりその際も大変ありがとうございました。ご法話をいただきました。

御讀題は高僧和讃の「煩惱にまなこさへられて 摂取(せつしゅ)の光明みざれども 大悲ものうきことなくて つねにわが身をてらすなり」を挙げられました。この和讃はご法話の讀題としてよく使われるものです。悲しいことに自己中心の生活に明け暮れ、欲望に心を閉ざされている私には、仏様のお姿を見ることはできません。しかし阿弥陀様は光明によって私を摂め取り、片時も目を離さず守りはぐくんでくださることを親鸞聖人がお慶びになった和讃です。

先生があるご門徒様と所へ月忌参りに行かれた時のお話

です。その方は旦那様を30代の若さで亡くされて、その時からお寺とお付き合いがあり、今でも月忌参りを欠かさないそうです。現在はお子様やお孫様はお盆や正月など事あるごとに実家にお戻りになるそうです。ある時月忌参りにお伺いした際に、お仏壇に一枚の紙が置いてあったそうです。普段は見えない事のないもので不思議に思った先生は、ご門徒さんにその紙についてお尋ねになられたそうで、それは小さい女の子のお孫さんが書かれた旦那様、お孫さんから見ればお祖父様に対してのお手紙だったそうです。「おじいちゃん、もう死んじゃったけど寂しくないよ。今からお寺にお参りに行ってね。おじいちゃんはお仏壇でお留守番しててね」というものでした。お孫さんはお祖父様にお会いしたこともお話しもしたことはありません。しかしお孫さんはお仏壇に向かうたびにお祖父様に向かつていつも話しかけているそうです。

す。ご門徒さんはお孫さんのそのような姿から大変ありがたいものを感じているとお話下さったそうです。

このエピソードから先生は、阿弥陀様は私たちのために常に私に任せてくださいよ、必ずすぐいますよとはたらいてくださっています。しかしそのはたらきを見るのができません。そのためお念仏があり、本来ならお念仏が口から出てくるはずのないこの私たちにお念仏が出るのは、阿弥陀様のはたらきが今ここに届いている確かな証であるとお話いただきました。

慶誠寺法務員 鎌田大輔



安全・安心 快適な社会環境づくりを!

本社：旭川市4条通5丁目左10号
TEL (0166) 22-0151 FAX (0166) 22-0170
札幌支店：札幌市中央区南1条西6丁目 旭川信金ビル
TEL (011) 271-6495 FAX (011) 221-6897
営業所：東京・関西・関東

<http://www.morinagagumi.co.jp>





大阪府羽曳野市 明教寺 不死川 浄師

宗祖親鸞聖人ご命日法要

大阪府羽曳野市 明教寺 不死川 浄師

令和5年3月15日(水)

3月の法要は、大阪府羽曳野市明教寺から不死川(シナズガワ)浄師からご法話を頂きました。ご講師は『観無量寿経』等様々なお経典に説かれる「王舎城の悲劇」について、お話し下さいました。王舎城の悲劇とは、お釈迦様がご在世の二千六百年前のインドで、当時大国であったマガダ国のピンバシヤラ王が息子のアジャセに殺されてしまうという、歴史上の悲劇です。

夫人は懐妊するのですが、再び占い師に聞くと「いつかこの子は王の命を奪う」言われます。王は後悔し、子どもを剣の林に産み落として殺そうとしますが、子どもは剣の間に落ちて助かります。その子どもがアジャセです。

王子として育てられ成長したアジャセを利用してする者から、アジャセは出生時の話を聞かされ、父の王は、未だに王子を恐れ憎んでいると、そそのかされるのです。アジャセは父を牢獄に入れて、隠れて王に食事を運んでいた母もまた牢に閉じ込め、王は死んでいきます。多くの経典では父を殺害し後悔するアジャセの救いが説かれ、『観無量寿経』では、夫を殺された妻、父を殺した息子の母である、イダイケ夫人がお慈悲に救われていく阿弥陀如来の救いが説かれるのです。

御講師は、親鸞聖人にとつ

て「王舎城の悲劇」にでてくる仙人を殺した王、夫人、父を殺した息子、これらの登場人物は、全てわれわれの姿であると見られたといえます。ピンバシヤラ王もイダイケ夫人も、この事件以外では国民に慕われた聡明な王と妃でありました。アジャセもお釈迦様の教えを聞き、仏教に帰依した後は、父の頃よりも国を繁栄させた国王になりました。人間、善い人と悪い人がいるのではなく、平時は良い人も縁に触れば愚かなことをしてしまふ、そんな弱さを持つのが私たちの姿だと聞かせていただきました。

現在色んな事件が報じられるたび、一斉に皆で非難をしますが、私たちは縁にあえば、何をするか分からない弱い存在だという自覚が大事だと思わせてもらいました。

慶誠寺法務員 辰巳大之

法要会席 5,250円～

雪の屋

旭川市神居町富沢409観音台 Tel 0166-61-2266



春季永代経法要

兵庫県神戸市 源光寺 源裕樹師

令和5年4月15日(土)～4月17日(月)



兵庫県神戸市 源光寺 源裕樹師



令和五年の春季永代経法要
は兵庫県神戸市より源 裕樹
師をご講師にお迎えして三日
間勤められました。

一日目は「立教開宗法要」として勤められました。ご講師は御讃題として親鸞聖人がおつくりになられた御和讃、正像末和讃より「如来の作願をたづぬれば 苦悩の有情をすてずして 回向を首としましたまひて 大悲心をば成就せり」をひかれてからのおはなしとなりました。

ご講師は初めに親鸞聖人の生い立ちから浄土真宗が建てられるまでの事についての解説をして下さりました。その後「命の見方」ということについてお話しく下さいました。その中で私たちは「損得」や「好き嫌い」や「大小」等に囚われた見方しかできないということ。けれども阿弥陀如来はすべての命をひと繋ぎのものとして見て下さっていると話しく下さいました。私たちはどうしても他と比べて良し悪しや優劣を決めてしまいま

す。それによって悩みや悲しみ、怒り等が起こってくるのであります。しかし本当は全てのものに価値があり、それぞれが素晴らしいものであるのです。だからこそ阿弥陀仏はすべてのものを等しく必ず救わねばならないと誓われ「南無阿弥陀仏」となつて私の下へと届いて下さったのであります。

二日目は「門信徒総追悼法要」として勤められました。ご講師は御讃題として親鸞聖人がおつくりになられた御和讃、高僧和讃より「本願力にあひぬれば むなしくすぐるひとぞなき 功德の宝海みちみちて 煩惱の濁水へだてなし」をひかれてからのお話しとなりました。この御和讃は葬儀の時に詠まれますので聞き覚えのある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。ご講師は初めに「仏教とは」ということでお話し下さいました。その中で仏教とは仏の教えであり、仏に成る教えであり、仏にする教えであると

話しく下さいました。更に仏と成る対象はすべての衆生であるという事であります。そこには何の条件も資格も有りません。何故かという仏様はすべての命あるものを一つつながらの物として見て下さつておられるからであります。そこには何の分別(わけ隔て)はありません。分別をしているのはいつも私の方であります。仏さまはそういう私が居るからこそ必ず救わねばならないと手を尽くして下さいましたのであります。

三日目は「永代経開闢法要」として勤められました。ご講師は御讃題として親鸞聖人がおつくりになられた御和讃、高僧和讃より「生死の苦海ほとりなし ひさしくしづめるわれらをば 弥陀弘誓のふねのみぞ のせてかならずわたしける」をひかれてからのお話しとなりました。ご講師は初めに「教えの聞き方」ということとお話し下さいました。その中で同じ話を聞いても人はそれぞれ違う聞き方、

受け止め方をするものであるとお話しく下さいました。確かに人はそれぞれ性格も違えば考え方も異なりますから、聞き方受け止め方が違ついても当然の事でありましょう。だからこそお釈迦様はそれぞれに合った教えの説きかたをなされたのであります。そのことを「対機説法」とか「応病与薬」と言われるとお話しく下さいました。そして教えの最終目的は「悟り」を得ることであり「迷い」や「苦悩」から解放たれて「仏」と成ることであります。けれども私たちはどれだけ教えを聞いても中々聞いた通りにはできません。だからこそ阿弥陀如来は「そのまま」の私を「そのまま」必ず救うと誓われ修行し「南無阿弥陀仏」となつて私の下へと届いて下さり、今まさに私の口から「お念仏」となつて出てきて下さつているのであります。

慶誠寺法務員 正平勝導

永代経ご進納

今回の法要では、秋季永代経法要以降に永代経をご進納頂いた9名の開闢法要を併せて勤修致しました。また皆様よりたくさんのお仏供米をご奉納いただきましたこと、誠に御礼申し上げます。

別修永代経開闢法要

第二種 志納金

五十万円

荒川 和好

別修代経開闢法要

第四種 志納金

三十万円

島 進

山口 アイ子

金平 靖彦

伊東 マツエ

原 城 昭子

栗山 昭悦

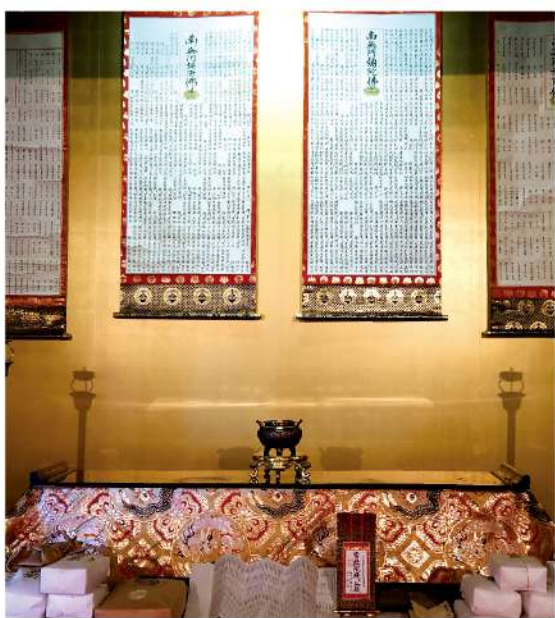
大久保 稔

総永代経開闢法要

第二種 志納金

二十万円

高田 博



浄土真宗門徒入門式

春季永代経法要2日目の4月16日、浄土真宗門信徒入門式が執り行われました。開式にあたり、まずは『讃仏偈』を皆さんでお勤めしました。その後、誰でもわかる「浄土真宗ミニ講座」として石田住職より講義をしていただきました。受講された皆さんは、プロジェクトを使って視覚からの情報とクイズによって、浄土真宗の学びを深められたことと思います。浄土真宗のご本尊であります。阿彌陀如来という仏様は、「私にまかせなさい、必ずあなたを救います」と私たちに向かって常によびかけていらっしゃる仏様です。その学びをよりいっそう深めようと、石田住職は私に背を向けるように言うと、「私が鎌田君の後ろにいて、必ず支えるから、力を抜いて後ろに倒れてみて」と言いました。しかし、頭ではわかっていても、なかなか実行には移せません。結局後ろへ体が傾くと同時に、片足が半歩後ろへ出て踏ん張ってしまいました。「私が支えるから大丈夫だよ」ということでもう一度挑戦しますが、結果は変わりませんでした。阿彌陀様が「私にまかせなさい必ずあなたを救います」と呼び掛けて下さっているのだから、それに素直におまかせすればよいと簡単にいっても、そのお任せするということが、いかに簡単なようで、難しいことなのかということを感じます。参加された皆様、普段聞かない仏様の話を興味深く聞いておられたのが印象的でした。

慶誠寺法務員 鎌田大輔



春季彼岸会

第十八回 慶誠寺布教大会

令和5年3月20日(月)～22日(水)



慶誠寺住職 石田慶嗣



慶誠寺法務員 鎌田大輔



慶誠寺法務員 正平勝導

三月二十日から三日間、春季彼岸会と併せて第三回慶誠寺布教大会がお勤めされました。年二回住職と法務員がこのようなご法話をお話しさせていただくのですが、他の寺ではこのような機会はなかなかないとお聞きします。法話を作り、披露するのは大変ですが、終わった時の充実感はなかなか味わえません。初日は正平法務員の「人生そのものの問い」、二日目は二席、住職の「愚者のよろこび」、辰己法務員の「聞くことは信心なり」、そして最終日は私、鎌田の「凡夫」を御讀題としてご法話させていただきました。

今回住職のご法話では、妙好人の浅原才市さんがとりあげられました。妙好人とは、善導大師や親鸞聖人が真実の信心をいただいた人のことを讃えられた言葉ですが、江戸時代以降に編集された「妙好人伝」という書物では、多くは一般庶民で真実の教えにめざめ、お念仏の生活を送った人を指します。

才市さんは、石見(いわみ)の国(今の島根県)温泉津(ゆのつ)町小浜(おばま)に父・要四郎、母・スギを縁として、嘉永三年(一八五〇)二月二十日に生まれました。十一才の時に両親が離婚、才市さんは母に連れられて実家に帰りまし

た。やがて母は再婚。才市さんは、十一歳で大工の弟子として年期奉公に行き、二十歳の頃には船大工の職を持ちました。四十歳を過ぎてからは、下駄作りの大工になりました。才市さんが四十五歳の時に、父が八十二歳の生涯をお念仏と共に終えました。その頃から才市さんは「おやのゆいごん、なむあみだぶつ」と、近在のお寺の法座に足を運ぶようになりまし。それから二〇年間が求道に燃えた時期でした。妻のせつさんと御本山参りをし、帰敬式も受けました。そして六〇才を過ぎた頃よりお念仏の詩が生まれ、六四才の頃よりかなのくずに、法悦の詩を書いては夜にノートに書き写す日課が始まりました(六五〇〇の詩)。詩ができ

ると、安楽寺の梅田謙教和尚に見て貰ったそうです。才市さんは昭和七年一月十七日、八十三才でお念仏の生涯を終えました。

才市さんにはある肖像画があります。念珠をかけて合掌する小柄な姿に柔和な表情。しかしこれを見た才市さんは「これはわしじゃない」といつて鬼を表す角を書き加えさせたといいます。これは何を表現しているかといえば、阿弥陀様から見える姿をあらわしています。どんなに表面上は綺麗に飾っても、自分の本当の姿は恐ろしい鬼の姿である、そのような自覚がありました。そしてそのような恐ろしい姿そのままを救われていく姿を合掌に表したものと云われています。

最後の才市さんが残した歌の中からいくつかをご紹介します。

かぜをひけば せきがでる
才市が ご法義の かぜをひ



慶誠寺法務員 辰己大之

いいた 念仏のせきが でる
わたしや浄土を先に見て 娑婆で申す南無阿弥陀仏
死ぬる事 まよいなり 死なんは 浄土なり これが楽しみ なむあみだぶつ

これらの歌は改めて才市さんがお念仏のみ教えの素晴らしさを後の世に伝えて下さっています。

慶誠寺法務員 鎌田大輔



反省の弁の難しさ

慶誠寺法務員 辰己大之



日本は、謝罪の文化といわれる。それは不祥事や事件、何か問題がある度に、関係者が並び、謝罪会見を行うからだ。謝罪会見は、芸能人の不祥事の際に行われていたのが、平成10年の山一証券倒産の会見を期に、一般企業をはじめ、会見をするようになったという。何かあれば謝罪会見を行い報じる、これは海外からすれば異様なことで、日本独特の文化だそう。

そんな謝罪会見だが、昔から火に油を注ぐような結果になっていることが少なくない。謝罪には、何秒頭を下げるなどのマニュアルがあるのだそうだが、誠意の無さは取り繕っても、やはりぼろが出てしまう。

私自身、悪戯をしては見つかり、よく先生に怒られていた経験をもつので、反省の弁の難しさがよくわかる。先生から「なんでこんなことをしたんだ!？」と問われても、悪戯をした理由など、碌なものがない。そして、自分の中からでてくるのは、自分を少しでも良いように見せたい言い訳ばかり。どうやったら怒られないだろうか、しか頭がないのだから、怒られるしかない。

「デル・カーネギーの世界で1500万部売れた名著」人を動かす」では、人間の本質をあらわした逸話の中に、ニューヨークの刑務所長の話がある

わたしは、刑務所長から、興味のある話を聞かされた。およそ受刑者で自分自身のことを悪人だと考えているものは、ほとんどいないそうだ。…犯罪者は、たいてい、自分の悪事にもっともらしい理屈をつけて、それを正当化し、刑務所に入れられているのは実に不当だと思ひ込んでいるものなのである。

…人間はたとえ自分がどんなに間違っただけでも決して自分が悪いと思いたがらないものだ

他人を批判するほどに、自分を厳しく見る人は少ないだろう。人間は言い訳と正当化を無意識にしてしまう。だからこそ、自分をごまかさず見るのは難しい。

浄土真宗の開祖、親鸞聖人は自己を厳しく見つめる方であり、その教えを喜ぶご門徒の方々も、そうであった。有名なのは仏教学者の鈴木大拙により世界に紹介された、妙好人(みょうこうにん)と呼ばれる当時のお念仏者たちの信仰懺悔の逸話の数々だ。中でも妙好人浅原才市さんにはこんな話がある。

浅原才市さんは下駄職人で、5千を超える信仰の詩をカナナ屑に書き留めた人である。才市さんは昼に書いたものを夜にノートに清書するのが日課だった。その日は、日中に思うところがあつたのか、自身のことを

あさまし、あさまし、あさまし…

と繰り返して4ページにもわたり、びっしり書いていた。その後、

あさましいというの、うそよの、うそよの…うそのかわ

と今度は、うそ、うその皮とペーじいっぱい書き、あさましいというの、うその皮、と締めて

才市さんは、自省している時。自分の中に、あさましいと言われている自分の他に、あさましいと自分を批判している自分の姿を見つけたのだ。心の中にもう一人の自分をつくり、自分を批判する事で自分を罰し、自分

を許している。そんな心の嘘を見抜いて、「あさましいのもうそ」「うその皮」と書かれた。

自分の心に向き合うのもずると、自責の念にかられ、身心を病む場合もある。妙好人と呼ばれるお念仏者に共通するのは「あさましいあさましい」という自省懺悔の言葉だけではなく、必ず「ありがたい、ありがたい」という法悦感謝の言葉が続く。それは、あなたがどんな姿であつても、決して見捨てることなく救う。と誓われた阿弥陀様のお慈悲に出遭っているからである。

実際、人間、自分をごまかさずに見つめ、素直に前に進むためには、阿弥陀様のお慈悲のようにどんな自分であつても受け止めてくれる場所が必要なのだと思ふ。私も、せめて自分の子どもには、何があつても「お前は大丈夫だ」と力強く言いたい。

しかし、なによりは、よく妻に怒られている自分を悔い改めたいといけないうの、うそよの、うそよの…うそのかわ



消しゴム版画で手紙づくり

お寺で学ぶ、お寺で遊ぶ、

安心の子どもサークル



TERAKOYA KIDS
寺子屋キッズ!



寺子屋キッズ!
きくし塾への入会申し込みは
いつでも受付しています。気軽にご連絡下さい。

TEL 0166-31-2871 (慶誠寺)

令和5年2月26日(日)

2月の寺子屋キッズは、消しゴム版画を作って、大切な人へ手紙を作りました。消しゴム版画は彫刻刀を使う活動。小学校の低学年から参加される寺子屋キッズでは、安全を考慮し、ガード付きの彫刻刀を使っています。彫刻刀に安全ガードがついているからといって、絶対に手指を切らないわけではありません。彫刻刀でケガをしないようにするためには、刃が動く方向に手を置かない、ということ徹底して、教えなければなりません。子ども達は、一度、2度教えても、熱中すると、手が彫刻刀の前に添えられています。今回、低

学年の子ども達に大学生が一人ずつ見ながら活動し、安全に活動することができました。彫刻版画のよいところは、どの作品も味があること。よい作品がたくさんできました。

今回2月の末、進級を控えた年度末ということで、版画とともに大切な人へのメッセージを書いてもらいました。成長の節目、感謝の言葉を伝えるのは、大事なことです。そしてもらった親はうれいものです。

慶誠寺法務員 辰巳大之

3月
紙粘土を使った
オリジナル写真立てづくり
令和5年3月26日(日)

3月の寺子屋キッズの活動は紙粘土を使ったオリジナルの写真立てを作り、寺子屋キッズでは例年、年度末3月の活動で、写真立てを作り、記念写真を撮ってお渡ししています。今回の活動は、色付きの紙粘土とプラバンを使って写真立てをつくりました。紙粘土は、私が子どもの頃使用していたものより進化しており、今回100円均一で用意した紙粘土は、軽くて、手につきにくく、とても扱いやすく驚きました。

写真立てには紙粘土だけでなく、好きなキャラクターや、写真立てを装飾するための飾りをプラバンで作成しました。

子ども達がプラバンで写して描きたいという、キャラクターの数々をみると、やはり、わからないものが多く、色々なキャラクターを知る機会となりました。紙粘土を使ったオリジナル写真立て。色の違う紙粘土を混ぜ合わせマーブル柄をつくって作品にしているのもあり、様々です。色と形が自由に作れる紙粘土のおかげで、子ども達の想像力を感じる個性豊かな作品が、たくさんできました。何より、子ども達が自発的に作りたかったものは全て良い作品です。

慶誠寺法務員 辰巳大之



4月
ステンダグラス調の
鯉のぼりづくり
令和5年4月30日(日)

4月の寺子屋キッズの活動は、カラーフィルムを使ったステンダグラス調の鯉のぼりをつくりました。子どもの日が近いこともあつての鯉のぼりづくり。まず、みんなに鯉のぼりの由来から説明します。

鯉のぼりの由来は、中国の言い伝え。黄河をさかのぼり、「龍門」とよばれる滝を登りきった鯉は、龍になって天に登るといわれていることから、子どもが元気に育ち、将来活躍してくれるようにという願いを込めて、鯉のぼりが飾られるようになったというものです。あの鯉登りの鯉は、やがて龍となる鯉だったのでした。みんな鯉のぼりの由来をうなづきな

がら聞いており、日本人が、大切にしていた行事を、季節に応じて、感じる良いきっかけになったと思います。カラーフィルムを使った鯉のぼりは、カッターとはさみで画用紙を切り抜いて作ります。切り抜いたところにカラーフィルムを重ねることによって、色々な表現ができ、みんな綺麗なステンダグラスを完成させていました。それぞれの鯉のぼりを完成させた後は、みんなで絵具を使ってみんなの手形で大きな鯉のぼりを完成させました。

慶誠寺法務員 辰巳大之





慶誠寺法務員
正平勝導

マサ坊の



増やしたつても良かららめん

今回は私の車のウインドウオッシャーのノズルが詰まっていたので交換してみました。
普通は純正の部品を取り寄せて…という事なのですが、それでは面白くないので今回は純正以外の部品を使ってやってみました。



①まずは状況確認です。見てのとおり片側しか噴射していません。



②これが取り寄せた部品です。純正他車種のものでも良かったのですが今回はあえて社外品を取り寄せました。



③ボンネットを開けたところです。ボンネットの左下の所に黒いチューブが這っているのがわかるでしょうか。これがウオッシャー液の通り道になります。



④⑤ノズルの根元です。チューブが刺さっているのが分かります。



⑥⑦チューブを外します。



⑧ノズルを外します。構造はいたって簡単です。ペンチで挟めばすぐに取り外せます。



⑨ノズルが外れたところです。



⑩ノズルが付いていた場所です。長年に渡って蓄積された汚れです。



⑪新しい部品を付ける時に影響が出るので綺麗にしておきます。

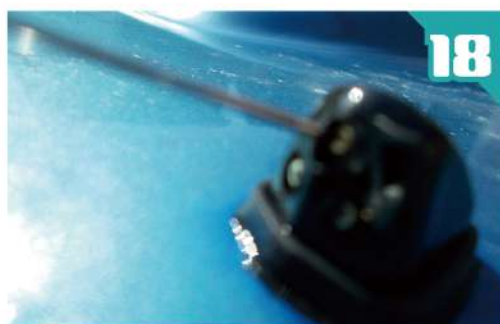
ウォッシャーノズルは普段なら気にも留めない部品かも知れませんが春先などは雪解けも相まってフロントガラスが汚れて視界をふさがれることも良くあります。いざ使う時に水が出ないということになれば大変危険です。特に古い車はウォッシャーのタンク内に汚れなどが溜まってノズルを詰まらせてたりすることもあります。その場合は細い針などで詰まりを取り除いてあげると良いのですが根本的な解決をするならばノズルを交換した方が良いでしょう。今回は三つ孔の物を使いましたが他にも霧吹きタイプなんかもあるようです。何だか面倒くさい作業に思えるのですがやってみると意外と簡単な作業です。



⑯ノズルにチューブを差し込みます。



⑰部品の交換は終わったので一度ウォッシャー液を出してみます。随分と明後日の所に向って噴射しています。



⑱ノズルの向きを調整します。これは意外に知らない人が多いのですが実はそれぞれ動かすことができます。写真が見難いですが針等をノズルの孔に差し込んで向きを調整して下さい。私は布団針を使いましたがゼムクリップなんかはピッタリの太さです。



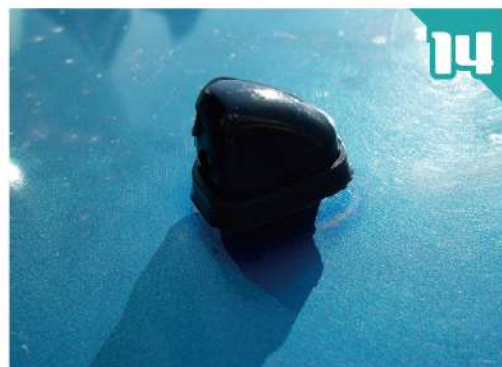
⑲良い感じになってきました。調整が終われば完成です。



⑫外したノズルです。



⑬新旧のノズルです。左が新しいノズル、右が古いノズルです。噴出孔の数が違います。



⑭新しいノズルを差し込みます。この時に向きを間違えないように注意しましょう。



⑮ノズルの裏側のストッパーが完全にかかると同時に、向きを間違えないように注意しましょう。



徳川家康

最終回



大坂の陣と最期

慶長19年(1614年)10月、「大坂冬の陣」が始まります。家康は全国の諸大名に参戦するように要請します。集まった数は20万。かつて豊臣秀吉が北条家を倒すために動員した数と同数です。序盤は数に勝る徳川勢が野戦で豊臣勢を打ち倒し、大坂城に追い込んでいきます。しかし大坂城を包囲して攻撃すると、豊臣方の手痛い反撃に遭います。特に真田信繁(幸村)が作った真田丸は強力で、攻め込んだ徳川勢に大打撃を与えました。そこで家康は当時最新鋭のオランダ製の大砲による攻撃に切り替えます。当時の鉄砲や大砲は決して命中率は高くありませんでした。しかしそれが発する轟音だったので、豊臣方に大きな精神的な動揺を与えます。このことですっかり戦意を失った豊臣家は徳川方と和睦交渉を行います。条件は大坂城の堀を全て埋めること、雇い入れた浪人達を大坂城から退去させること、そして秀頼母

子を大坂城から退去して他の城に移ることの四つでした。当時の常識から見れば家康はかなり譲歩しています。豊臣家と大坂城を引き離してしまえばなんとでもなると考えていたのかも知れません。しかしこの和睦は破談になってしまいます。徳川方が行った堀の埋め立てはすぐに実行に移され大坂城を裸城になります。しかし残りの三つはいつまで経っても実行されませんでした。今までかなり譲歩してきた家康でしたが、豊臣家が態度を改めないことに我慢の限界を超えました。慶長20年4月、大坂へ向けて15万の軍勢を差し向けます。今回は豊臣家を滅ぼすことが目的でした。

この時も豊臣方は経験豊富な浪人達が奮戦しますが、今度は大坂城に籠城することもできず、野戦となったため多勢に無勢。ことごとく討ち取られ、ついに大坂城は落城します。そして淀君・秀頼親子は自害し豊臣家は滅亡します。開戦してわずか10日で決着がついてしまいました。その後家康は幕藩体制の基礎となる「武家諸法度」、朝廷公家に対する「禁中並公家諸法度」、宗教団体に対する「寺院諸法度」を制定します。これは徳川家の脅威とならうる勢力を法によって縛り付けるものでした。

元和2年(1616年)1月、ついに家康は病に倒れてしまいます。この時75歳。すでにこの時代の平均寿命(45歳くらい)を大きく上回っています。

家康でしたが、この前の年まで健康を維持していました。家康は健康に大変気にかけて生活していたため、この年まで命を長らえてきたのでしょうか。しかし寿命には勝てませんでした。元和2年4月17日ついにその生涯に幕を下ろしました。



最後に

現在、大河ドラマでは、「どうする家康」が放映されています。家康が好きな私なのですが、あんまり見ていません。家康の描かれ方がどうも好きになれません。主演の松本潤さんには何の恨みもありませんが、どうも頼りない感じなのです。自分がイメージしていた家康とはあまりにもかけ離れているので、個人的にはがっかりです。脇を固めている俳優さんたち(武田信玄役の阿部寛さん、豊臣秀吉役のムロツヨ

シさん)のお芝居が素晴らしいので、もう少し家康の描かれ方が変わってくれば良いなと思っています。

家康が天下人になりその後の300年続く泰平の世の基礎を作れたのは、個人的に思うのは、歴史から学び、自身の失敗から学んだことではないでしょうか。家康が作った江戸幕府は基本的に親族(親藩)と三河以来の家臣(譜代大名、旗本、御家人)のみ運営に参加させました。しかしあまり領地は与えませんでした。例外は尾張、紀伊、水戸の御三家ぐらいでしょうか。そうすることによって身内が力を持ちすぎないようにしていました。また特定の家臣が実力をつけないように、幕府のそれぞれの役職には単独ではなく複数の家臣がなるようにして常に相互監視するシステムを作ったのです。外様大名は幕府の運営には決して参加できませんでした。そして関東や東海、畿内といった主要な土地からは離れたところに配置しました。そして軍事力強化をさせないために天下普請や参勤交代で多くの金を使わせました。特に多くの金を使うことになったのは参勤交代でした。江戸まで向かう道中の旅費や宿泊代、江戸での滞在費は莫大で、多くの大名の財政を逼迫させ軍事力強化を防ぎました。これはかつての幕府が、有力な大名が幕府の実権を握ってしまい將軍家の権威が低下してしまったことから学んでいると思えます。

もう一つは健康に気をつけたことではないでしょうか。家康は75歳まで生きることになります。彼と同世代の武將の多くは関ヶ原の戦い以前に亡くなっています。関ヶ原の後にはさらに下の世代もなくなっています。大坂の陣の際には自らの経験を上回る武將は存在しませんでした。家康は日頃から粗食を心がけていた上に運動も欠かしませんでした。さらに薬の知識も豊富で、自ら作るほどでした。そのため最晩年の大坂の陣でも馬に乗れるほどだった上に、66歳まで子供が作れるほどで、平均寿命が45歳であったことを考えるといかに健康であったかがわかります。誰よりも長生きしたことが天下を取れた1番の要因ではないでしょうか？

家康の生きた時代にはスペインのフェリペ2世、英国のエリザベス1世、フランスのルイ14世、ロシアのピョートル大帝、清(中国)の康熙帝、ムガル帝国(インド)のアクバルといった名君が登場しています。家康は日本で最も長い内乱状態が続いた戦国時代を終焉させて、その後続く約300年間続く泰平の時代を日本にもたらしました。このことはこれらの名君も成し遂げた事のない世界史上類を見ない偉業です。このコラムを作る中で改めて徳川家康が世界に誇れる人物であったと教えてもらったなと思えました。

奉仕の後 昼食を用意しています。
 6月の昼食はバーベキューインストラクターの住職より
 ステーキ丼を振る舞います！
 ご参加おまちしております。



バーベキューインストラクター
 慶誠寺 住職 石田 慶嗣



6月15日(木) 9時 草取り奉仕(雨天時は仏具磨き)
 1時 聖徳太子御命日講
 8月21日(月) 9時 仏具磨き・草取り奉仕

お寺でごはん

みんなで食べると
 おいしいね!

お寺で、みんなで楽しく食事をしませんか？食事の後は仏様にお参りさせていただきましょう。慶誠寺仏教婦人会の方々が手作りの料理をご用意します。お一人様でも、友達や家族と一緒にのご参加もお待ちしています。



日時 7月15日(土)
 10月15日(日)

11時00分～12時30分頃
 ※遅くとも11時半までにはお越しください。
 事前お申込み不要 気軽にお越しください。

参加費 300円

場所 慶誠寺 一階 慈光の間
 旭川市豊岡5条4丁目4-14

全日程
 共通

ご法要 13時00分～13時30分
 ご法話 13時30分～14時00分



北海道離郷門信徒のつどい in 築地本願寺

～出遇える喜び ふるさを思い出してみませんか～

ごあんない

謹啓 慈光照護のもと門信徒の皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、平成26年より当山慶誠寺が東京築地本願寺にて開催してきました「慶誠寺関東在住門信徒のつどい」も今年で第10回を数えます。日頃は何かと疎遠になりがちではありますが、年に一度でも、同郷のものが一同につどい、ふるさとや懐かしい方々を偲びつつ、いま生かされているいのちの尊さに感謝していく。このような法味あふれるつどいになることが願いであります。今回は特別講演として、元受刑者であり更生支援をしているフナタイム氏をお呼びして、『更生とは何か。罪を犯していた当時の自分と今の自分。闇バイトをしないためには』と題してお話をさせて頂きます。様々なメディアで発信している方なので特殊詐欺事件とかに会わないためにも参考になると思います。

また、つどいに合わせて、「盂蘭盆会法要」をお勤めしたいと存じます。法要では、すでに物故者となられた方々のご苦勞を偲び、仏法に出遭わせて頂いたご縁を慶びながら、お勤めさせていただきます。過去帳をご持参の上、ご参拝下さい。そして、「慶誠寺関東在住門信徒のつどい」では、地元のお菓子やお土産をご用意しています。どうぞこの機会に、ご家族おそろいでお参りくださいますよう、ご案内申し上げます。

日時

令和5年 **7月23日(日)** 受付 **10時30分～13時30分**

会場

築地本願寺 第一伝道会館1F振風道場 (本堂正面に向かって右側入口)
東京都中央区築地3-15-1 TEL (03)3541-1131

法要

盂蘭盆会法要には、念珠・聖典・門徒式章・過去帳などをご持参下さい。

対象

東京近郊にお住まいの門信徒・ご家族・ご親戚などへご案内下さい。

参加費

不要(軽食をご用意しています。ご家族でお気軽などにご参加下さい。)

申込方法

令和5年7月17日(月)までに、当寺までにお電話・FAXでお申し込み下さい。



ご講師

レンタル元受刑者
フナタイム氏

特殊詐欺グループとしての刑期を終え、その経験から多くのメディアに出演。特殊詐欺や闇バイトの実態等を話し、犯罪防止活動を繰り返している。

10:30 受付 (築地本願寺第一伝道会館1F振風道場)

10:55 開催挨拶

11:00 盂蘭盆会法要 導師 石田 慶嗣

11:30 特別講演『罪を犯していた当時の自分と今の自分』
ご講師 レンタル元受刑者フナタイム氏

11:50 住職挨拶/参加者記念撮影

12:00 関東在住門信徒のつどい(ランチ会)
※アトラクション・ゲームなど
(懐かしの旭川銘菓とお食事をご用意しています)

13:00 閉会



■会場アクセス

東京メトロ日比谷線 築地駅徒歩1分
都営地下鉄浅草線 東銀座駅徒歩5分
大江戸線築地市場駅徒歩5分



連絡先

主催: 菊枝山慶誠寺

TEL (0166)31-2871 FAX (0166)33-2013

2023年
(令和5年)

慶誠寺年間行事スケジュール

掲載のスケジュールはどなたでも参加頂けます。お気軽にご来寺下さい。

6月15日(木)	9時 13時	仏具磨き/草刈り奉仕 聖徳太子御命日講
7月15日(土)	13時	宗祖親鸞聖人月忌法要
7月23日(日)	11時～ 13時半	慶誠寺関東在住の門信徒の集い in築地本願寺
8月21日(月)	9時	仏具磨き

〈宗祖親鸞聖人報恩講〉9月10日(日)～9月12日(火)

9月10日(日)	13時	初逮夜法要	
9月11日(月)	7時半	晨朝勤行	コロナウイルス 感染状況により 変更有り
	11時	日中法要	
	13時半 16時	大逮夜法要 初夜法要	
9月12日(火)	7時半 10時	晨朝勤行 満日中法要	

10月15日(日)	13時	宗祖親鸞聖人月忌法要 (世話人会・婦人会追悼法要)
-----------	-----	------------------------------

〈秋季永代経法要〉10月28日(土)～10月30日(月)

10月28日(土)	13時	秋季永代経法要
10月29日(日)	11時 13時	還暦古希喜寿傘寿米寿卒寿のつどい 秋季永代経法要
10月30日(月)	13時	秋季永代経法要

11月15日(水)	13時	宗祖親鸞聖人月忌法要 (仏教婦人会報恩講)
12月15日(金)	13時	宗祖親鸞聖人月忌法要
12月31日(日)	22時半	除夜の鐘 幻冬フェスタ2023

〈秋季彼岸会〉9月22日(金)～24日(日)

9月22日(金)	13時	秋季彼岸会 第19回慶誠寺布教大会
9月23日(土)	13時	
9月24日(日)	13時	

慶誠寺からのお知らせ

年間維持費納入のお願い

維持費の納入は
8月31日までに
お願い致します。

2023年度の
維持費は **¥15,000**以上でお願いします。

振込先 **ゆうちょ銀行(郵便局)** 口座番号/02880-4-1143 口座名義人/慶誠寺

お振込みの際には、お名前・ご住所・電話番号を明記して下さい。

「かつ飛ばせー龍谷」と元気の良い応援がスタルヒン球場に響く。春季高校野球北海道大会の旭川支部予選準決勝。旭川実業高校との試合。三回表に8点を奪われた。魔の3回。その他の回は0点で抑えたが、時すでに遅し。7回コールドで試合終了。▼ブツダのお言葉に「法句経」がある。そこには、「勝利者が勝ち取るものは敵意である。敗れた人は苦しんで萎縮する。心穏やかな人は、勝敗を捨てて安らかに過ごす。」と書かれている。▼仏教には「戦え、頑張れ」という教えはない。そうではなく「今ここで戦うよりも、もっとすぐれた道はないか」という「超越した道」を教える。つまり、戦いの泥沼に足を入れずに、戦いを「乗り越える」ということ。ブツダは、「聖者は、勝ちも負けも乗り越えて平安に住む」と説く。▼つまり、だれかに勝つ必要もないし、だれかに負ける必要もないということ。競争を一切無くした方が良くというわけではない。ただ、勝ち負けを争うのではなく、「自分の能力を発揮すること」に努めるというように考え方を変えるのだ。▼例えば、運動会の競走でいえば、勝ち負けを競うのではなく、それぞれが悔いなく自分の力をださける。つまり、1位になった人も、最下位の人も、勝った負けただけではなく、自分の能力を発揮したと考える。▼今回も、旭川実業高校の野球の方が一枚も二枚も上手だった。しっかりと自分たちの能力を発揮できたのだと思う。次は旭川龍谷高校野球部の夏の甲子園へ向けての道が続く。しっかりと練習して、自分の能力をただ発揮することを考えることによって、自分に適した道が開かれていくのだろう。



住職の戯言

『日々是々』

自分の能力を発揮

慶誠寺住職 石田慶嗣